



● 草の根協力支援型

2017年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	スリランカ民主主義共和国
2. 事業名	あんまマッサージ指圧訓練コースの設立・運営による視覚障害者の雇用促進事業
3. 事業の背景と必要性	スリランカでは、7～15万名ほどいと推計される視覚障害者は、安定的な雇用に就く事がほぼ不可能な状態が続いている。そのような中で当会は、2011年に国立シドゥワ障害者職業訓練校（SVTC/社会福祉省管轄）のマッサージコース修了者の雇用促進支援、2012年には、日本人の指圧技術指導による技術向上のため、修了生の雇用受け入れ先として、コロンボ市の中心部に「TTH/トゥサーレ・トーキング・ハンズ-Thusare-Talking Hands-」を開業した。現在、9名の視覚障害者を指圧師として正規雇用できるまでになったが、より大きなインパクトを生み出し、経済的自立と社会参加を促進するためには、「技術力の向上」、「指導者育成」、「社会の意識改革」が重要となる。そのために、より質の高い実践的な指圧トレーニングの提供、講師育成のためのシステム作り、医学知識の習得機会の提供、障害者への偏見や不理解が根深く残る社会への継続的な情報発信が、必要になっている。
4. プロジェクト目標	TTHの指圧訓練の体系化を通して、視覚障害者の雇用が促進される
5. 対象地域	スリランカ国西部州コロンボ県コロンボ市およびガンパハ県カタナ郡
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在スリランカ日本大使館
7. 本事業の対象となる人々	SVTC（職業訓練校）：職業訓練校教員1名、生徒10名（2年） TTH（OJT実施機関）：指圧師（研修生含む）10～15名、視覚障害者（未経験者）で指圧師を目指す者10名～15名程度（2年）
8. 事業活動	<活動> 1-1. 初級T、中級Tの音声テキストとカリキュラムを作成する 1-2. 指導者Tの音声テキストとカリキュラムを作成する 1-3. 施術の技術レベルを客観的に評価するための指標を開発する 2-1. TTHの研修生に初級Tを実施する 3-1. 指圧師に中級Tを実施する（TTH） 4-1. 指圧師選抜者に指導者Tを実施する（TTH） 5-1. 職業訓練校と訓練内容の課題分析を行い、改善アクションプランを作成する（SVTC） 5-2. 改善アクションプランに沿って訓練内容の改善を行う（SVTC） 6-1. 視覚障害者指圧師の職域に関する啓発活動を障がい当事者、家族、関係者（障害者団体、教職員、医療関係者、県レベルの社会福祉省職員等）を対象に実施する
9. 実施期間	2020年2月～2022年2月（2年0か月）
10. 事業費概算額	9,991千円
11. 事業の実施体制	【日本側】 アプカス日本事務所（1名/日本側調整業務） 日本人指圧技術指導者（2名/年2～4回渡航） 日本人プロマネ（1名）、現地雇用コーディネータ（1名/現地） 【カウンターパート】 シドゥワ障害者職業訓練校（社会福祉省管轄） トゥサーレ・トーキング・ハンズ（現地指圧院）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アプカス
2. 活動内容	スリランカにおける国際協力事業およびソーシャルビジネス事業 （ごみ問題、有機農業技術普及、指圧技術普及、女性自助グループ等）